



夢とロマン溢れる「宇宙ショー」と日食予測

いやはや5月22日は日本中が大変な騒ぎだった。言わずもがな「金環日食ブーム」である。金環色が見られるのは、関東地方で言えば130年ぶり、次は北海道で20年後だそうだから、ほとんどの人にとって人生一度きりの体験になる。それだけに多くの人たちがこの機会を逃すまいと、朝7時半、空を見上げる情景が日本中で見られた。筆者もその一人だった。

前日までの天気予報では曇りから雨模様で、果たしてこの世紀のショーを目にできるかどうか祈るような思いで床に就いた人が多かったのではなからうか。テルテル坊主へかけた思いが通じたか、カーテン越しに差し込む薄日に思わず跳ね起きた。6時半頃から太陽は右上から欠け始め、みるみる黒味が増え予告されていた時間ぴったりに、細い太陽のリングがつながり見事な金環が完成した。初めて見る荘厳な宇宙ショーに得も言われぬ感動がこみ上げた。その後、このリングは左下から細くなり出し、やがてリングは切れ右上から太陽が再び顔を出し始め、2時間後、何事もなかったように元の姿を現し宇宙ショーは終わった。

ところでこの宇宙ショーは1秒の狂いもなく正確に演じられた。今の技術力では当たり前と言えば当然なのだが、なんととも不可思議な感じがした。若かりし頃、物理の授業で月や星、太陽の動きを習ったことをかすかに覚えているが、まさかこの年になってこれほど見事な金環色を目にするとは思ってもいなかった。

太陽と地球の位置、地球の周りを回る月の軌道と地球の自転、これらがある関係になった時に初めてこの宇宙ショーは演じられ、しかも地球表面を覆う薄皮のような雲がない時に初めて人の目にその姿を見せてくれる。日食は、地球から見て見かけ上の太陽の軌道（黄道：実は地球の公転）と月の軌道（白道）が交差する時に、必ず発生し宇宙のいとなみとしては珍しいことではない。しかし皆既日食や金環食は地球上で見える範囲は狭いため、地上に住む人にすれば極めて珍しいことで、一人の人生の中でこの幸運に浴するのは奇跡に近いと言ってよい。

「天照大御神の雨の岩戸」の神話は、実は日食のことを意味しているとの説もある。また「源平盛衰記」には屋島で源平が雌雄を決していたさなか、日食が発生した（グレゴリオ暦1183年11月24日、寿永2年閏10

月1日）と書かれている。この時の戦い（源平水島の合戦）は、平家が源氏に勝利した唯一の戦いだ、その裏に日食をめぐる話があることは知る人ぞ知る史実である。グローバルな世界観を持つ清盛に率いられた平家は、中国文化にも明るく暦を作る仕事もしており、この時、日食が起きることを知っていて、それを利用したのだそう。一方、田舎者の関東武者の源氏はそんなことが起きるとはつゆ知らず、突如暗くなった太陽に慌てふためきパニックになり敗れ去ったとの説もある。この勝利で一時的に勢いを得た平家は摂津福原まで盛り返し、京に戻りそうな気配も見られた。しかし有名な一の谷の決戦で義経の奇襲にやられ、ほどなく再び西へ遁走することになり、やがて壇ノ浦であえなく海中の藻屑として歴史の表舞台から消え去ったのである。一時的にしる、歴史の中で日食が演じた事例の一つとして大変興味深いことである。はたして、今放送中のNHK大河ドラマ「平清盛」でこの事実をどう扱うのか楽しみなところである。

平家がどのようにして日食到来を予測したのか、その術は明らかになっていないが、日食に関して面白い事例は他にも沢山ある。江戸前期に実在した天文暦学者「渋川春海」は、当時使われていた宣明暦（中国伝来の暦を日本に当てはめたもので、かなりの誤差が顕在化していたようだ）に基づき、日食発生日時を予測したが、案の定失敗した。しかし渋川は失敗の原因を探りその経験を踏まえ、日本各地の緯度、経度を自身で観測し直し、その結果に基づき、それまでの暦の誤差を補正し新たに完成させた（1685年）のが、初めての日本独自の大和暦「貞享暦」である。この暦をベースに計算し直す日食の発生日時は見事一致したそう。

実は渋川春海は、第2世安井算哲という名の囲碁棋士で江戸幕府囲碁方の名門安井家の当主でもあった。幼くして天才の誉れが高く囲碁の道でも一流を極めたが、和算にも長け成人するころには天文学でも一流となり幕府初代の天文方にもなった史上有数の大人物である。渋川春海の波乱万丈の一生と暦や日食に絡む話については、沖方 丁の小説「天地明察」に詳しく書かれており、今秋、映画（滝田洋二郎監督、岡田准一、宮崎あおい、中井貴一ら）も公開される。この小説には、後援者としての水戸光圀や数学者の関孝和、生涯のライバルだった本因坊道策らの名も登場する。大変面白い、夢とロマン溢れる物語なので是非読まれること推奨したい。

今ではコンピュータの進歩により日食の予測など何の苦もないことで高校生にもできるそう。ところで人工知能を備えたコンピュータが囲碁や将棋の棋士に見事勝利を上げたと報じられている。「夢とロマン」あふれる神秘的で幻想的な宇宙ショーや極めて人間的な囲碁や将棋のような勝負事が、無機質のコンピュータによりいとも簡単に扱われるのはいささか寂しいと感じるが、諸兄は如何だろうか。（虚数）